

福祉センター別館建設工事（機械設備）

図番	図面名称	図番	図面名称
M-00	表紙	M-08	給排水設備平面詳細図
M-01	機械設備工事特記仕様書3-1	M-09	空調機器表
M-02	機械設備工事特記仕様書3-2	M-10	空調設備平面図
M-03	機械設備工事特記仕様書3-3	M-11	空調計装設備平面図
M-04	配置図	M-12	換気機器表・給排気口表
M-05	衛生機器表・凡例・柵リスト・排水管勾配図	M-13	換気設備平面図
M-06	衛生器具表	M-14	換気設備屋根伏図
M-07	給排水設備平面図	M-15	仮設給水管撤去図

I 工事概要

1, 工事場所

山口県下松市西市二丁目10番16号地内

2, 建物概要

No.	建 物 名	構 造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	工 事 区 分
1	(増築部) 老人福祉センター	S造	1	273.03	6項ハ	○ 新営 ・ 全館無人改修 ・ 執務並行改修

3, 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

[illegible]

4, 設備概要

空気調和・ 冷暖房設備	方式等	○ 空気調和（ ・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ○ パッケージ方式 ・ ファンコイルユニット ・ ファンコイル、ダクト併用方式 ） ・ 直接暖房（ ・ 温水 ・ 低圧蒸気 ） ・ その他 （ ）
	主要熱源機器	・ 鋳鉄製ボイラー ・ 鋼製ボイラー ・ 温水発生機（ ・ 真空式 ・ 無圧式） ・ 木質バイオマスボイラー（ ・ 真空式 ・ 無圧式） ・ チリングユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ・ 遠心冷凍機 ・ 吸収冷凍機 ・ 吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット ○ パッケージ形空調と機
	換気設備	○ 機械換気（○ 第１種 ・ 第２種 ○ 第３種 ）
	排煙設備	・ 機械排煙（ ・ 有り ・ 無し ） 適用法規（ ・ 建基法 ・ 消防法 ）
	自動制御設備	・ 自動制御方式（ ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ ）
給水設備		○ 市水 ・ 井水 ○ 水道直結方式 ・ 高置水槽方式 ・ 受水槽加圧ポンプ方式 ・ 水道直結増圧方式
排水設備	方式	○ 自然流下 ・ ポンプ排水（ ・ ）
	放 流 先	○ 公共下水道（○分流 ・ 合流） ・ 浄化槽 ・ 建築雨水樹
給湯設備		○ 局所式 ・ 中央式（ ・ 重力式 ・ 強制循環式） ○ 熱源機器（ ・ 瞬間沸湯器 ・ 鋼製ボイラー ○ 電気温水器 ○ 熱源（○ 電気 ・ 都市ガス ・ 液化石油ガス ・ 灯油 ・ A重油 ）
消火設備		・ 屋内消火栓 ・ 屋外消火栓 ・ 連結送水 ・ スプリンクラー ・ 消火器 ・ ・ ・
ガス設備		・ 都市ガス（種別： ・ MJ/m ³ 30・ (N) ） ・ 液化石油ガス
浄化槽設備		・ 小規模合併処理 ・ 合併処理

II 特記仕様

一般事項

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁營繕部監修「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」、「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和4年版」及び「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版」による。
2. 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
3. 特記仕様の適用方法
 - (1) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項は○印の付いたものを適用する。・印は適用しない。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は共に適用する。

種目	項目	特記事項
一般共通事項	① 機材	イ) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書の規定するもの又は、これらと同等のものとする。 また、製造業者等が定められている機材については、製造業者指定名簿によるほか、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ロ) (一社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」により所要の品質・性能を有することの評価を受けた機材等を使用する場合は、評価書の写しを以て標準仕様書による品質及び性能を有する証明となる資料の提出を省略することが出来る。 ハ) 形状・寸法等が設計図と異なる場合は、他に支障を生じない限り監督職員と協議の上処理するものとする。
	② 化学物質を放散させる建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次のイ)からホ)を満たすものとする。 イ) 合板、木質系フローリング、構造用パネ、集成材、単板積層材、MDF、パネ、パネルボード、その他の木質建材、UV樹脂板、仕上塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ロ) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ハ) 接着剤はフル酸エポキシ及びフル酸ジエーテルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、フェノール、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ニ) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 ホ) イ)、ハ)及びニ)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散させないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散させないものとは放散量が規制対象外(JIS、JASのF☆☆☆☆)のものを、放散が極めて少ないものとは放散量が第三種(F☆☆☆☆)のものをいい、原則として規制対象外のものを使用する。ただし、該当する材料がない場合は、第三種のものを使用する。
	③ 環境への配慮	下記品目については、山口県グリーン購入の推進方針に基づき、グリーン購入適合品を採用する。 イ) 空調用機器 ・ 吸収冷凍水機 ・ 氷蓄熱式空調機器 ・ GHP式空調和機 ○ ヒートポンプエアコン ・ 空調用送風機 ・ 空調用ポンプ ロ) 衛生器具等 ○ 自動水栓 ○ 自動洗浄装置及びその組み込み小便器 ○ 大便器(高座面及び和風便器を除く) ○ 暖房便座及び温水洗浄便座 ・ ガス湯沸器(業務用を除く) ハ) 配管材 ○ 排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管 ニ) 建設機械 ※ 排出ガス対策型 ※ 低騒音型
	④ 機材の承諾	原則として、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)による。
	5. 化学物質の濃度測定	測定対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に測定結果を提出する。(提出部数 部) イ) 測定対象室及び測定対象箇所数 ・ (箇所) ・ (箇所) ・ (箇所) ・ (箇所) ロ) 測定種方法及び測定対象化学物質 ※ 着工前濃度測定及び予備濃度測定 簡易測定法(・検知紙法 ※ 検知管法 ・ 定電位電解法 ・ 吸光光度法) 測定対象化学物質: ※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ・ その他() ※ 引き渡し前濃度測定 学校施設の場合: ※ 厚生労働省の標準測定法 学校施設以外の場合: ※ パッケージ型採取機器 測定対象化学物質: ※ ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを加えた6物質を測定 ・ その他() 測定は、計量証明事業者(濃度・大気)の登録を受けているものが行うこと。 測定方法等については、監督職員の指示を受けること。
	⑥ 建設廃棄物	イ) この工事が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)の対象建設工事となった場合は、建設リサイクル法の定めるところにより契約前に ① 説明書により説明(建設リサイクル法第12条) ② 建設リサイクル法第13条及び省令第4条に基づく書面の提出 を監督職員へ行なわなければならない。 ロ) この工事により発生する建設廃棄物(特定建設廃棄物を含む。)を処理する場合、建設リサイクル法及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という。)を遵守し適正に処理しなければならない。 引渡しを要するもの ※ 無し ・ 有り() 特別管理産業廃棄物 ※ 無し ・ 有り(品名: 、処理の方法:) ハ) この工事から発生する建設廃棄物の処理施設は「廃棄物処理法により許可を受けた施設」とする。
	⑦ 耐震措置	イ) 機器、配管、ダクトなどの耐震措置のため、必要な計算書を監督職員に提出する。 ロ) 設備機器の固定は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説」(令和3年版、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)及び「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。 建物の種別 ・ 特定の施設 ○ 一般の施設 重要機器 ・ 防災機器 ・ 火気を使用する機器 ・ タンク類 ・

⑧	技能士の適用 (1級または2級)	○ 配管 (建築配管作業 級) ・ 熱絶縁施工 (級) ・ 塗装 (建築塗装作業 級) ○ 冷凍空気調和機器施工 (級) ・ 建築板金 (級) ・ 厨房 (厨房設備施工 級)
⑨	電気保安技術者	○ 適用する (資格要件は標準仕様書による) ・ 適用しない
⑩	仮設工事	受注者事務所、作業員休憩所、工所用機材置場等の仮設物は、あらかじめ仮設工事計画書を作成して監督職員と協議のこと。
11.	指定仮設物	・ 仮囲い ・ 交通誘導警備員 (人)
⑫	工事表示板	※ 設置しない ○ 設置する (建築、電気と協議し作成)
⑬	工用電力、水、その他	本工事に必要な工用電力、水などの費用は受注者の負担とする。
⑭	建設発生土	※ 構外指示の場所に処分 (残土処理場 (下松市米川)) ○ 構外に搬出し適切に処理 ・ 構内敷きならし ・ 構内指示の場所に堆積
⑮	施工図等	総合図、施工図の作成 ○ 要 ・ 不要
⑯	総合試運転調整 ・測定表	下記項目の総合試運転調整を行い測定表を監督職員に提出する。(2部) ・ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びびじんあいの測定 ○ 騒音の測定 (敷地境界) ○ 初期運転状態の記録 ○ 気密 ・ 水質 (・ 飲料水 (10項目: 学校環境衛生基準による) ・ 浄化槽の放流水 (7条検査))
17.	説明板等	監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置などの取扱い要領を記載した説明板及び説明書を作成する。説明板は、指示する箇所に取付ける。
⑱	図形表示	機器類は、図面特記する形状及び配管等の取出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
⑲	電気容量等の表示	電動機出力、燃料消費量等は、原則として表示された値以下とする。
⑳	機器能力等の表示	機器類の能力、容量等は、原則として表示された値以上とする。
㉑	負担金 (消費税込み)	・ 給水引込負担金 (加入金及び納付金等を含む) (・ 本工事 ※ 別途) _____ 円 ・ ガス引込負担金 (・ 本工事 ※ 別途) _____ 円 ・ 下水道等接続負担金 (・ 本工事 ※ 別途) _____ 円 注) 申請及び検査等に係る諸経費は、受注者の負担とする。
㉒	スリーブ等	地中外壁貫通部のバックアップ材についてはヤンを使用しても良い。なお、水密を要する箇所は除き、硬質ポリ塩化ビニル管 (VU もしくは VP) 又はホリド管を使用しても良い。
㉓	支持金物・固定金具	ホリド及び屋外設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製 (SUS304) とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等は、ステンレス製 (SUS304) 又は溶融亜鉛めっき仕上げ (HDZ49以上) とする。ビット内及び土間配管の吊金具はステンレス製とする。なお、ステンレス製金具を、鋼管に取付けの場合は、合成樹脂を被覆した支持及び固定金具を用いるか、ゴムシート又は合成樹脂の絶縁テープ等を介して取付ける。
㉔	はつり工事	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明けは、原則としてダremontカッターによる。
㉕	補修など	工事の施工に伴い、既設部分を汚損した場合は既設にない補修する。
㉖	配管の変位吸収措置	建物導入部等の配管の変位吸収は標準図の施工4、5とし、図面特記のない場合は標準図の施工5(c)とする。適用配管 (○ 給水 ・ ガス ・ 油 ・ 消火 ・)
㉗	屋外地中配管	イ) 給水・消火用配管にはバルブソケットは使用しない。 ロ) 図面に埋設深さの記載のない配管は土被り600mm以上埋設する。(ホリド圧送以外の排水管は除く) ハ) 配管の周囲 (100mm) は、山砂の類 (ダスト含む) にて埋め戻す。
㉘	屋内土間配管	イ) 管及び被覆樹脂をいためぬよう山砂の類 (ダスト含む) にて周囲を埋め戻したのち、掘削土の良質土で埋め戻す。 ロ) 配管には吊金具を取付け、土間コンクリートの配筋より吊る。
㉙	埋設標示	イ) 標準仕様書によるほか、図示の箇所に地中埋設標を設ける。 ロ) 地中埋設標 a) 合成樹脂製のリサイクル製品を使用する。 b) 舗装部分は ※ 鉄製 ・ コンクリート製
30	溶接管の検査	・ ガス配管 ・ ガス配管以外 () 非破壊検査の適用 ※ 無し ・ 有り (・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査) 抜取率 ※ 標準仕様書による %

特記事項	工事名	図 名	縮 尺	作成日	図面番号
	福祉センター別館建設工事（機械設備）	 武居設計事務所 山口県下松市古川町1丁目5-20-201 TEL 0833-44-8390 一級建築士事務所 山口県第1232号 一級建築士登録 第125874号 武居 健二	機械設備工事特記仕様書 3-1 A2サイズ→100% A3サイズ→71%縮小		M-01

①

保温

イ) 下記の倉庫・設備室等の配管、ダクトの保温は、屋内露出（一般居室、廊下）に読み替える。
・ 機械室 ・ ポンプ室 ・ 電気室 ・ 自家発電室 ・ 倉庫 ・
ロ) 給湯管、温水管、冷温水管で、下記施工箇所は、次に示す保温の種別を適用し、保温材は、ポリスチレンフォーム保温材を硬質ウレタンフォーム保温材に読みかえる。
※ 地中埋設 d・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 D・(n)・Ⅲ（冷温水）
※ 屋外露出及び浴室、厨房などの多湿箇所 e※ 2・…(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 E2・(n)・Ⅲ（冷温水）
※ 暗渠内（ビット内を含む。） d・(n)・Ⅶ（給湯、温水）、 D・(n)・Ⅲ（冷温水）

②

塗装

下記部分のビニル管はカラーVPとし、塗装を行わない。
※ 屋内露出部分 ※ 屋外露出部分

③

防食処理

標準仕様書によるほかコンクリート内の鋼管（排水用を含む）はプラスチックテープを1/2重ね1回巻きとする。（但し外面樹脂被覆鋼管は除く）

④

着工時の提出図書

工事請負契約書に定められたもののほか、次のものを監督職員の指示に従い着工時に提出すること。
※工事用製本図面（工事用A2版） （ O ）部 （縮小版A3版） （ 2 ）部

⑤

完成時の提出図書
(市作成要領参照)

※竣工図A2版 （ 2 ）部、CADデータ共 ※施工図A2版 （ 2 ）部、CADデータ共
※ A4版（工事名、工期、受注者名を記入）に次の図書を製本したもの。（市様式による）
※ 竣工図 ※ 施工図 ※ 機器図(保証書の別)共 ※ 各種試験成績表
※ 取扱説明書（保全に関する指導案内書を含む） ※ 各種申請済書類のコピー
※ 公的機関の検査済証 ※ 工事担当者名簿 ※ 下請業者届 ※ 主要材料届 ※ 施工体系図

※施工計画書 1部

⑥

工事写真

下記のことを監督職員に提出する

分類 ・ 規格	撮影場所	部数	備考
※ カラー ※ サービス版(L版)	適宜	1部	電子データ共

電子データの提出方法については「工事完成図書の電子納品要領」及び「電子納品に関する手続き〔営繕系工事編〕」による。
工事写真は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「工事写真撮影ガイドブック」、『営繕工事写真撮影要領(最新版)』及び「デジタル工事写真の小黑板情報電子化基準」による。

⑦

工事日報

完成時に1部提出する。

⑧

他工事との取合い

イ) ・ すべて本工事 ※ 図面特記のない場合、下表による
ロ) 他工事との取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

他工事との取合い	建築	電気	機械
鉄筋コンクリート壁、床及び梁等における設備（埋め込み盤、フルボックス、ダクト、配管等）の仮枠、箱入れ及び貫通スリーブ	開口部補強 電気のスリーブ等 機械のスリーブ等	※ ・ ※ ・	・ ・ ※ ・
埋込型設備機器取付箇所の床、壁、天井のボード類の切込み及び下地補強	切込み及び補強 電気墨出し 機械墨出し	※ ・ ※ ・	・ ・ ※ ・
電気室、自家発電機室などの基礎及びビット（ふた含）	基礎及びビット 電気墨出し	※ ・ ※ ・	・ ・ ※ ・
天井点検口		※ ・	・ ・
軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・ ※ ・	・ ※ ・
機器類の吊りボルト用インサート	電気設備 機械設備	・ ※ ・	・ ※ ・
機器類の取付用アンカーボルト	電気設備 機械設備	・ ※ ・ ※	・ ※ ・ ※
コンクリート基礎（外灯設備）		・ ※ ・	・ ※ ・
コンクリート基礎（機械設備機器類）	屋上設置 屋内設置 屋外設置	※ ・ ※ ○ ・	・ ※ ・ ※ ・
オイルサーピスタンク防油堤		※ ・	・ ※ ・
自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びﾄﾞｱﾌｾｯｸ、ﾌｵｱﾋﾞﾝｼﾞﾝｸﾞ		※ ・	・ ※ ・
OAフロア・フリーアクセスフロアパネルの切込み及び補強		※ ・	・ ※ ・
OAフロア・フリーアクセスフロア仕上材の切込み及び補強		・ ※ ・	・ ※ ・
外壁取付けガラリ		※ ・	・ ※ ・
換気扇枠、換気扇枠用アルミパネル開口（ストッパー取付を含む）		※ ・	・ ※ ・
建築工事を含む設備機器附属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側 2次側（調整含む）	・ ※ ※ ・	・ ※ ・ ※ ・
機械設備工事を含む設備機器附属の制御盤及び操作盤の配管・配線	1次側 2次側（調整含む）	・ ※ ・ ※ ・	・ ※ ・ ※ ※
機械設備制御盤から別途盤類への渡り配管・配線の接続		・ ※ ・	・ ※ ・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配管		・ ※ ・	・ ※ ・
エアコン、空調機集中管理リモコン等の遠方操作スイッチの配線		・ ※ ・	・ ※ ・ ※
エアコン、空調機集中管理リモコン等の本体及び本体取付		・ ※ ・	・ ※ ・ ※
エアコンの屋内機、屋外機間の渡り配線（アース共）		・ ※ ・	・ ※ ・ ※
換気機器用スイッチの配管・配線及びスイッチ取付		・ ※ ・	・ ※ ・
換気機器用スイッチ本体（全熱交換ユニット用、24時間換気用を除く）		・ ※ ・	・ ※ ・
機械設備工事を含む遮断弁装置の操作器及び感知器の配管・配線		・ ※ ・	・ ※ ・
機械設備工事を含む電極の配管・配線		・ ※ ・	・ ※ ・
擬音装置の埋込ボックス		・ ※ ・	・ ※ ・
電気開閉式大便器用洗浄弁の一次側電源の配管、配線		・ ※ ・	・ ※ ・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配管		・ ※ ・	・ ※ ・
電気開閉式大便器用洗浄弁とスイッチ間の配線		・ ※ ・	・ ※ ・ ※
ガス給湯器等のアース配線		・ ※ ・	・ ※ ・
屋内、屋外雨水管	※	・	・

①

設計用温湿度条件

	外気条件		室内（調整目標値）			
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）
夏期	34.9℃	51%	26.0℃	50%	℃	%
冬期	-0.2℃	70%	22.0℃	40%	℃	%

②

機器選定能力

機器の冷房・暖房能力は定格能力による選定とし、図示能力以上の機器を選定する。

3.

冷水・温水・冷温水膨張・空気抜・補給水

※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452] ・ 配管用ステンレス鋼鋼管 [JIS G 3459]

④

ドレン管・通気管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452]
○ カラー硬質ポリ塩化ビニル管（ｶﾅｰVP）（露出部分） [JIS K 6741]
○ 硬質ポリ塩化ビニル管（VP）[JIS K 6741] または
リｸﾞﾀｲﾙ硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）[JIS K 9798] （原則RF-VP）
（区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと）
○ 空調用ﾄﾞﾚﾝ結露防止層付硬質塩化ビﾆﾙ管

5.

冷却水管

※ 塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA） [JWWA K 116, WSP 011]
・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） [JIS G 3452]
※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS G 3452] ・

6.

蒸気給気管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS K 3452] ・

7.

蒸気還水管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS K 3452] ・ 外面被覆鋼管
・ 一般配管用ステンレス鋼鋼管 [JIS G 3448]

8.

油・油用通気管

※ 配管用炭素鋼鋼管（黒管） [JIS G 3452] ・ 外面被覆鋼管 ・

⑨

冷媒管

※ 断熱材被覆鋼管 [JCDA 0009]
※ 2種管又は3種管を使用する。
改修時において火気を使用してはならない箇所については、JCDA0012によるメカニカル継手を使用してもよい。

⑩

エアコン用冷媒

冷媒はHFCとする。

11.

弁類

JIS 5 Kとする。ただし特記部分は、JIS 10 K とする。

12.

瞬間流量計及び流量測定口

イ) 形式はビトー管式（コック付）とする。 ※ 着脱式 ・ 固定式
ロ) 標準仕様書によるほか下記及び図示の箇所にも取付ける。
・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ 冷温水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング
・ ユニット形空気調和機の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング

13.

温度計

標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。
・ ユニット形空気調和機廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト

⑭

ﾊﾞｯｸｼﾞﾝｸﾞ形空気調和機(ｽﾏﾙﾄﾊﾞｯｸｼﾞﾝｸﾞ形及びｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝｼｰﾄﾞﾎﾟﾝﾌﾟ式を含む)

※ 冷暖房能力はJIS B 8616による。（ただし、GHPはJIS B 8627による。）
※ 屋内機、屋外機ともアース線をとる。
※ 屋外機は防振パット敷きの上、ダブルナットにて固定する。
※ 高さが1000H以上の屋外機は転倒防止措置を講じる。
（ただし、耐震計算書により転倒しないことが確認された場合を除く）
※ 定格電流値が20Aを超える機器は、高調波対策（アクティブフィルター）を施す。

15.

ファンコイルユニット

イ) ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁(・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形)を取付ける。
ロ) カセット形の風量分配ダクトは、自己消火性のポリスチレンフォームでもよい。

16.

放熱器

放熱器弁及びレターンコック又はトラップを取付ける。

17.

吹出口・吸込口

枠及びスリットの材質は ・ 鋼板製 ※ アルミニウム製（・ 着色する ・ 着色しない）

⑮

ダクト

長方形ダクトは ・ アングルフランジ工法
・ コーナーボルト工法（適用範囲は標準仕様書による）
円形ダクトは ○ スパイラルダクト
厨房用排気ダクトはフランジ接続とし、板厚は以下のとおりとする。
長方形ダクトの場合

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1200以下	0.6以上	0.8以上
1200を超え1800以下	0.8以上	1.0以上
1800を超えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上
750を超え1000以下	0.6以上	0.8以上
1000を超え1250以下	0.8以上	1.0以上
1250を超えるもの	0.8以上	1.2以上

⑱

フレキシブルダクト

吹出口、吸込口ボックスの接続用以外にも、機器との接続用として使用してもよい。

20.

ダンパ

軸受けはベアリングとする。

21.

フィルターの予備品

各種フィルターの予備品は下記による。
※ 100%（ ） ・ 50%（ ） ・

22.

消音内貼り

イ) 図示のダクト並びにチャンバーの保温材は、グラスウールとする。
ロ) 内貼りチャンバー類の寸法は、外形寸法とする。
ハ) 内貼りしたチャンバーの図示の箇所には点検口を取付ける。
点検口の大きさは原則として400×600とする。

23.

煙道

イ) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm ・
ロ) ばい煙濃度計 ・ 設置 ・ 不設置 ・ 取付座を設置
ハ) ばいじん量測定口80φ（大気汚染防止法による） ※ 設置 ・ 不設置

24.

オイルサーピスタンク

イ) 液面制御装置 ※ 取付け可 ・ 取付け不可
機能 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動、停止
・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点
ロ) 油面計はゲージ式（側圧式）とする。（警報接点 ※ 無し ・ 有り）

25.

地下オイルタンク

イ) 据付け方法は標準図 ・ 施工33, 35
・ 施工32, 34（鋼製強化プラスチック製二重殻）
ロ) タンクの保護被覆 ・ ウレタンエラストマー樹脂 ※ エポキシ樹脂
・ 強化プラスチック二重殻
ハ) 遠隔油量指示計 ※ 取付け可（※ 抵抗変化式 ・ 磁歪式 ・ ）
・ 取付け不可
ニ) 基礎杭 ※ 不要 ・ 要 （・ 本工事 ・ 別途工事）
ホ) 土留め工事 ※ 不要 ・ 要 （・ 本工事 ・ 別途工事）

②⑥

保温

イ) 天井内の空調ドレン管（VP管） ※ 保温する ・ 保温しない
ロ) 屋内露出の空調ドレン管 ※ 保温する ・ 保温しない
ハ) 暗渠内、パイプシャフト内の空調ドレン管 ・ 保温する ※ 保温しない
ニ) 屋内露出冷媒配管の外装材 ※ 保温化粧ケース(塩ビ製) ・
ホ) 屋外露出冷媒配管の外装材 ○ 保温化粧ケース(塩ビ製) ※ ステンレス鋼板
ヘ) スパイラルダクトの保温 ※ グラスウール保温板 32K ・ グラスウール保温板 40K
ト) 全熱交換器外気側の保温（25mm厚）施工 ※ 給気ダクト ※ 排気ダクト
チ) 厨房用排気ダクト(隠れ部)の断熱 ※ 行う（h・(イ)・Ⅸ） ・ 行わない
リ) 空調室を通る外気取入れ用ダクト（天井内を含む） ※ 保温する ・ 保温しない

1.

和風大便器の耐火処理

標準図（施工67（b））により施工する場所（ ）

2.

大便器用便座

原則として普通便座を使用するが、温水洗浄便座等を使用する場合は図中特記による。

①

配管材料

イ) 一般配管用 ※ 水道用塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VA）（SGP-FVA） [JWWA K116, WSP 011]
ロ) 土間配管用 ※ 内外面塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） [JWWA K116, WSP 011]（コンクリート埋設を含む）
ハ) 屋外地中配管用 ○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管（HIVP） [JIS K 6742]
・ 内外面塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） [JWWA K116, WSP 011]
・ 水道配水用ポリエチレン管 [JWWA K 144]
・
ニ) HIVP管の接合 ※ 7.5φ以上はRR継手による接合（離脱防止金具取付）
ホ) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。

②

管端防食継手

※ 使用する（標準仕様書による）

③

弁類

※ 弁類は、JIS 10 K とする。
・ 高置水槽以降の配管に使用するものは、JIS 5 K とする。
※ 量水器樹、給水引込部の止水栓、弁樹は水道事業者の指定品を優先する。

4.

緊急遮断弁装置

イ) 遮断弁駆動方式 ※ 電気式 ・ 機械式
ロ) 地震感知器 ※ 電子式 ・ 機械式

⑤

水栓柱

※ 合成樹脂製（内部コンクリート） ・ アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼製

特記事項

工事名

山口市下松市古川町1丁目5-20-201 TEL 0833-44-8390
一級建築士事務所 山口市第1232号
一級建築士登録 第125874号 武居 健二

図名

縮尺

作成日

図面番号

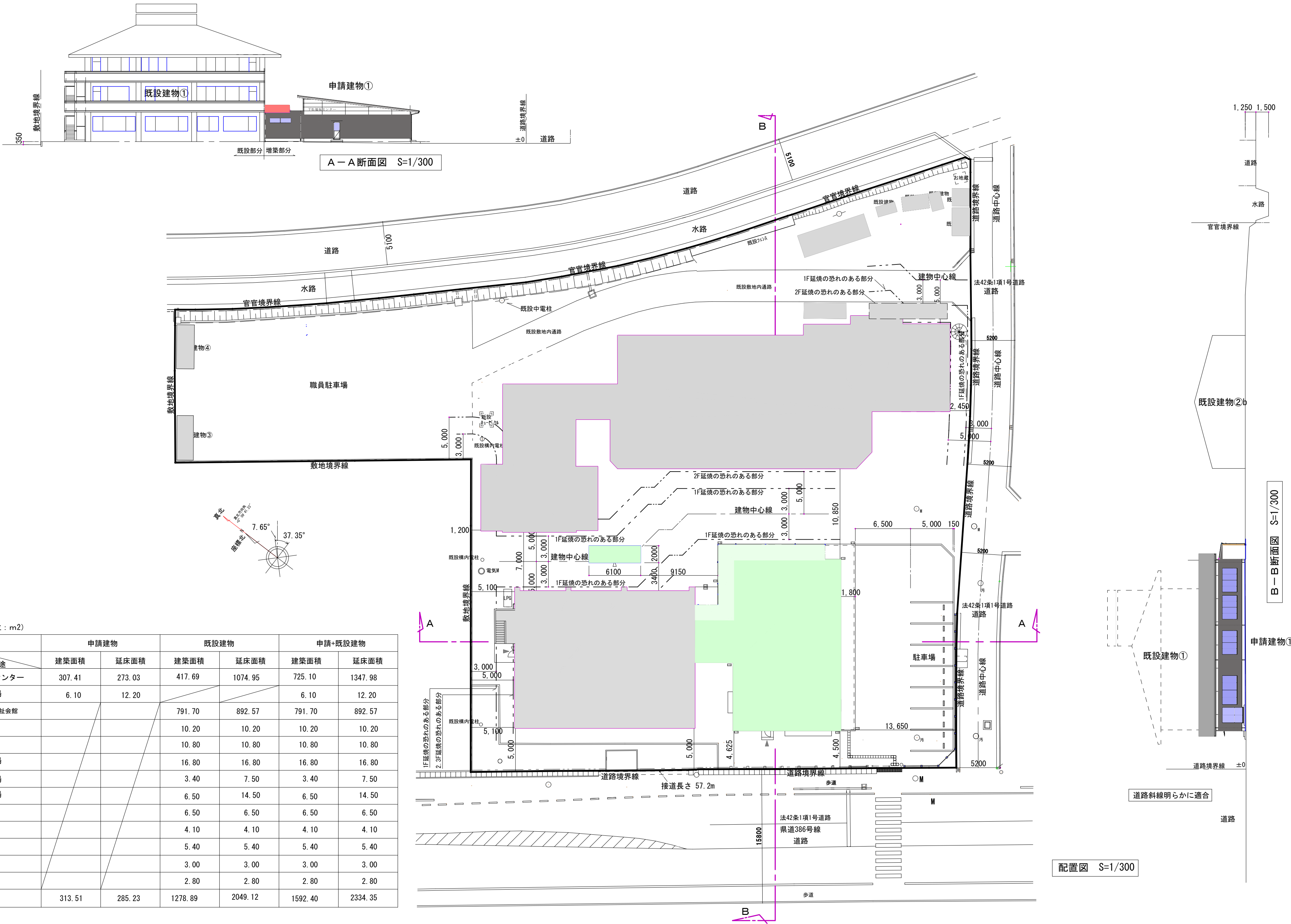
福祉センター別館建設工事（機械設備）

武居設計事務所

機械設備工事特記仕様書 3-2
A2サイズ→100% A3サイズ→71%縮小

M-02

給 水 設 備	6.	さや管ヘッダー配管システム	イ) 配管材料 ・ 架橋ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6769] ・ ポリブテン管 (PB) [JIS K 6778] ロ) 施工 ※さや管ヘッダー配管システムは、(一財)ベタリーピング「優良住宅部品評価基準 配管システムⅠ. 総則及びⅡ. 要求事項 1 住宅部品の性能基準に係る要求事項 1.1 機能の確保～1.3 耐久性の確保において定める性能等を有すること。 ※樹脂管の通管は、木工事完了後とする。ただし、下記事項を遵守して施工する場合には、さや管と樹脂管の同時施工をしても良い。 a) 配管施工時、樹脂管は系統毎に20cm程度の余長を取る。 b) 木工事完了後、水栓、ヘッダー接続前に内管10cmの押し引き試験を2回行い、チェックリストを作成し、監督員に提出する。 ハ) 樹脂管の接続方法 a) 架橋ポリエチレン管 ※メカニカル接合 ・電気融着接合 b) ポリブテン管 ※メカニカル接合 ・熱融着接合 ・電気融着接合	消 火 設 備	1. 配管材料 イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) [JIS G 3452] ・ ロ) 土間配管用 ※ 消火用硬質塩ビ外面被覆鋼管 (SGP-VS) [WSP 041] ・ ハ) 屋外地中配管用 ・ 消火用硬質塩ビ外面被覆鋼管 (SGP-VS) [WSP 041] ・ 消火設備用合成樹脂管 (日本消防設備安全センター認定品) ・ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) [JIS K 6742] 2. 屋内1号消火栓箱 イ) ※ 易操作性1号消火栓 ・ 1号消火栓 ロ) ・ H B - 0 A、0 B 形 (山口県標準詳細図) ・ H B - 1 A、1 B 形 ・ H B - 2 A、2 B 形 ・ (国交省標準図) ただし箱の大きさは、内法 700×1,000 以上とする。 3. 屋内2号消火栓箱 イ) ・ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ロ) ・ H B - 4 A、4 B 形 ・ (国交省標準図) 4. 弁 類 ※ JIS 10 K ・ JIS 16K 5. 消火ポンプ イ) ユニット形とし標準仕様書による。 ロ) 制御室内に起動リレーを内蔵する。 6. 保 温 消火配管等のうち、次の部分は保温を施す。(仕様は給水の区分による) ※ 屋外露出部分 ※ 消火用充水タンク ・ 7. 消火器 ※ 粉末ABC10型消火器 (蓄圧式) ・ 8. 適用規準 消防法及び関連法規によるほか、消防用設備等の技術基準 (第8次改訂版) 全国消防長会中国支部編による。	厨 房 機 器 設 備	1. 材質 2. 安全装置	※ アジャスターはSUS304とする イ) 熱調理器及び洗浄消毒機器の安全装置の適用については、標準仕様書によるほか図面特記による		
	排 水 設 備	① 配管材料 イ) 一般配管用 ○ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] または リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) [JIS K 9798] (原則RF-VP) (区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (D-VA) [WSP 042] ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ ロ) 一般配管用 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] または リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 (RF-VP) [JIS K 9798] (原則RF-VP) (区画貫通部にRF-VPを使用する場合は区画貫通処理を施すこと) ※ カラー硬質ポリ塩化ビニル管 (カラーVP) [JIS K 6741] (露出部分) ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (D-VA) [WSP 042] ・ 配管用炭素鋼管 (白管) [JIS G 3452] ・ 耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (FS-VP) ・ ハ) 屋外地中配管用 ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) [JIS K 6741] または リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管 (RS-VU) [JIS K 9797] (原則RS-VU) (車両通行部分においては、土かぶり600mm以上の場所に使用する) ※ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) [JIS K 6741] ② バルブソケット 給水用を使用する。 ③ 保 温 イ) 硬質ポリ塩化ビニル管を使用する排水管は ※ 保温しない ・ 保温する ロ) パイプシャフト内の排水管は ※ 保温しない ・ 保温する ④ 小口径樹 イ) (公社)日本下水道協会規格 JSWAS K-7とする。 ロ) 樹の立ち上がり管はVU管とし、樹脂蓋はくさり (SUS) 付とする。 ハ) VP管との接続は、樹の出口で変換ソケットを使用する。 ニ) 防護ハットの荷重区分は下記とし、内側に止水キャップを取付する。 ※ T-8 ・ T-14 ・ T-25	ガ ス 設 備		1. 配管材料 イ) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼管 (白管) [JIS G 3452] ・ 塩化ビニル被覆鋼管 (PLV) ロ) ビット内配管用 ※ 塩化ビニル被覆鋼管 (PLV) ・ ハ) 土間配管用 ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6774] ・ ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) [JIS G 3469] ニ) 屋外地中配管用 ※ ガス用ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6774] ・ ・ ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) [JIS J 3469] ホ) コンクリート埋設用 ※ 塩化ビニル被覆鋼管 (PLV) 2. ガスメーター 親メーター ※ ガス供給事業者より借用 ・ 買取り 子メーター ・ ガス供給事業者より借用 ※ 買取り 施工方法 標準図 (施工73) ・ 施工要領 (a、b) ・ 施工要領 (c) (予備調整器系統 ※ 不要 ・ 要) 高圧ホースは、ガス放出防止型とする。 3. 容器廻りの配管 施工方法 標準図 (施工74) ※ 施工要領 (a) ・ 施工要領 (b) ただし、ベルト又は鉄鎖は二重掛けとし、容器の高さの1/4及び3/4の位置に設置する。 4. 容器の転倒防止 合成樹脂被覆鋼管以外の配管は、支持金具部分プラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする 5. 防 食 末端ガス栓は、オン・オフ式とし、接続は次による ※ ホース (ヒューズ) ・ コンセント (ヒューズ) ・ 可とう管 6. ガス栓 イ) 都市ガス設備は、ガス供給事業者の規定する供給約款等の定めによる ロ) 工事完成後、ガス供給事業者立会いの上検査を行ない引継証を2部提出する 7. その他		そ の 他	1. アスベスト含有事前調査 イ) 設計時事前調査結果 ・ 有り (・ 書面/現地調査 ・ 分析調査) ・ 無し ロ) 着工前の調査における有資格者の指定 ・ 建築物石綿含有建材調査者 (・ 特定 ・ 一般) ・ (一社)アスベスト調査診断協会の登録者 ハ) 調査実施箇所については、監督職員との協議による。 ニ) 事前調査結果を公衆の見やすい場所に掲示すること。 (石綿調査結果記載例 ※A3以上とすること)  2. アスベスト含有成形板等の除去 イ) 石綿障害予防規則を遵守し施工を行う。 ロ) 作業管理者 石綿作業主任者 又は 特定化学物質等作業主任者 (平成18年3月以前の修了者) ハ) 対象建築材料 (・ 天井ボード ・ エルボ、チーズ保温材 ・ フランジパッキン) 3. アスファルト舗装 特記なき敷地内アスファルト舗装の仕様は以下による。 (・ 再生密粒AS-5-10 ・) 4. 舗装版切断 切断作業時に発生する排水を回収し、産業廃棄物として適正に処理すること。 回収した排水を現場から搬出する場合は、搬出時点で排水のpHを測定し、その結果を写真等に記録すること。この際、pHが12.5以上の場合には特別管理廃棄物となることに留意すること。 pHの測定方法 (※ 携帯式簡易測定器 ・) 処理施設、処理方法、運搬方法は任意とするが、産業廃棄物の種類・取扱いについては、山口県環境生活部及び下関市環境部 (下関市内のみ) の取扱いに準ずること。 監督職員へマニフェストを提示する際、併せてpHの測定結果の提示を行うこと。 ⑤ あと施工アンカー 標準図 基礎施工要領 (一) (施工26) の◎印と○印に適用してもよい。 その他機器については、監督職員と協議のこと。 なお、接着系アンカーは上向打ちに使用してはならない。 ⑥ 外壁防水処理 外壁の貫通部は防水シートの補修を行うこと。(防水テープ等) 建築工事と調整のうえ、ダクト等の貫通を行い補修等の確認後に壁張りを実施させること。		
給 湯 設 備		1. 配管材料 ※ 一般配管用ステンレス鋼管 [JIS G 3448] (継手は標準仕様書による 但し接合方法は指定しない) ・ 硬質継目無銅管 ・ 外面被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管 ・ 2. 弁 類 JIS 5 Kとする。ただし特記部分は、JIS 10 Kとする。 3. ガス湯沸器 ※ 潜熱回収型 (給湯の熱効率90%以上) ・ 潜熱回収型 (給湯の熱効率95%以上) ・ 一般型 4. さや管ヘッダー配管システム イ) 配管材料 ・ 架橋ポリエチレン管 (PE) [JIS K 6769] ・ ポリブテン管 (PB) [JIS K 6778] ※さや管ヘッダー配管システムの配管サイズ、施工等については、給水設備に準じて行う。		浄 化 槽 設 備	1. 処理種別及び方式 ・ 小規模合併処理 (・ 分離接触ばっ気方式 ・ 嫌気濾床接触ばっ気方式) ・ 脱窒濾床接触ばっ気方式) ・ 合併処理 (・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・) 2. 形式及び槽の材質 ※ ユニット形 (FRP製) ・ 3. 処理能力 処理対象人員 人 処理水量 m ³ ・30 / d 4. 水 質 流入水BOD ・ 200mg/ℓ以下 ・ mg/ℓ以下 放流水BOD ・ 20mg/ℓ以下 ・ mg/ℓ以下 放流水T-N ・ 20mg/ℓ以下 ・ mg/ℓ以下 5. コンクリート工事 ※本工事 ・ 別途工事 6. 基礎杭 ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 7. 土留工事 ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 8. 電気工事 ・ 本工事 (操作盤を含む以降の二次側配管、配線) ・ 別途工事 電源 φ V kW 程度 9. マンホールふた ※ MHA形 ・ MHB形 ・ 製造者規格品 10. 流入管底 GL- mm 11. 放流方式 ※ 自然流下 ・ ポンプアップ排水 (槽及びポンプは ・ 附属品 ・ 図示による)	特記事項		工事名 福祉センター別館建設工事 (機械設備)	山口県下松市古川町1丁目5-20-201 TEL 0833-44-8390 一級建築士事務所 山口県第1232号 一級建築士登録 第125874号 武居 健二	図 名 機械設備工事特記仕様書 3-3



建物面積表 (単位 : m2)

建物番号	建物用途	申請建物		既設建物		申請+既設建物	
		建築面積	延床面積	建築面積	延床面積	建築面積	延床面積
①	福祉センター	307.41	273.03	417.69	1074.95	725.10	1347.98
②a	駐輪場	6.10	12.20	791.70	892.57	6.10	12.20
②b	老人福祉会館					791.70	892.57
③	物置			10.20	10.20	10.20	10.20
④	物置			10.80	10.80	10.80	10.80
⑤	駐輪場			16.80	16.80	16.80	16.80
⑥	駐輪場			3.40	7.50	3.40	7.50
⑦	駐輪場			6.50	14.50	6.50	14.50
⑧	物置			6.50	6.50	6.50	6.50
⑨	物置			4.10	4.10	4.10	4.10
⑩	物置			5.40	5.40	5.40	5.40
⑪	物置			3.00	3.00	3.00	3.00
⑫	物置			2.80	2.80	2.80	2.80
敷地内計		313.51	285.23	1278.89	2049.12	1592.40	2334.35

衛生器具表（排水金具類、水栓・バルブ類は平面図参照）

器 具 名	品 番 等 〔メーカー品番は参考：同等品とする〕	備 考	室名、場所 ・ 数						計
			男 性 W C	女 性 W C	多 機 能 W C	給 湯 室	多 目 的 室	屋 外	
洋 風 大 便 器	CS597BCS	SH596BAYR(防露式ロータンク)、 YH701(SUS製棚付二連紙巻器) TCF5554AUPR(温水洗浄便座、タッチスイッチ式便器洗浄リモコン共、便ふたなし)(貯湯式) EWC385CS(ソフトタイプ 背もたれ) ※AC100V			1				1
洋 風 大 便 器	CS597BCS	SH596BAYR(防露式ロータンク)、 YH701(SUS製棚付二連紙巻器) ※AC100V TCF5534AU(温水洗浄便座、タッチスイッチ式便器洗浄リモコン共、便ふたあり)(貯湯式)	2	3					5
小 便 器	UFS900JCS	自動洗浄小便器 AC100V、 掃除口付壁掛低リップタイプ、 ※AC100V	3						3
掃 除 用 流 し	SK507	洗濯用流し、レバー式横水栓(T200BSQ)、TK40P、T9R、T8C		1					1
カウンター一体型洗面器	MC50	カウンター1150 L、 洗面器1個用 バルブホワイト、ブラケット共 TLE01505JA(台付自動単水栓 AC100V)、Pトラップ ※AC100V			1				1
カウンター一体型洗面器	MK50	カウンター1500 L、 洗面器2個用 バルブホワイト、ブラケット共 TLE25SS1A(台付自動単水栓 AC100V) × 2、Pトラップ × 2、フロントパネル扉式付 ※AC100V	1	1					2
化 粧 鏡	YM3580AC	350×800			1				1
LED照明付鏡	LE80014	LED照明付鏡(間接照明) 350×980 (AC100V、14.0W)	2	2					4
コンパクト オストメイトパック	UAS81RDC1NW	電気温水器 3.0L (AC100V、600W)、 紙巻器付 側板×2 共			1				1
洗 面 カ ウ ン タ ー	MB50C0750BPA13W	カウンター750L、ベッセル式洗面器 LSG722AAPMDR、ブラケット共、フロントパネル扉式 TLE01505JA(台付自動単水栓 AC100V)、Pトラップ 共 ※AC100V					1		1
多目的収納シート	EWC520ARS	1500×650×500H 固定金具共			1				1
ベ ー シ ー ト	YKA25N	樹脂製 固定金具共	1	1					2
ベ ー チ ェ ア	YKA15S	樹脂製 平壁設置タイプ 固定金具共	1	1	1				3
フ ッ ク	YKH21WR	SUS製ダブルフック			1				1
手 す り	T112CL10	樹脂被覆タイプ L型 700×700 前出寸法 120 固定金具共			1				1
手 す り	T112CL9	樹脂被覆タイプ L型 700×700 前出寸法 90 固定金具共	2	3					5
手 す り	T112HK7R	樹脂被覆タイプ 可動手すり(跳ね上げ式) 固定金具共			1				1
手 す り	T112CU22	樹脂被覆タイプ 小便器用 固定金具共	1						1
シングルレバー混合水栓	TKS05302J	台付シングルレバー混合水栓 アングル止水栓共(TL347CU)				1			1
散 水 栓	T28UNH13	散水栓ボックス B3 共						2	2

※ 器具取付に伴う補強工事は本工事とする。(ブースは除く)
ただし、メーカー仕様により補強板厚み等が増す場合は本工事に対応のこと

衛生機器表

記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量 (参考)		機 器 付 属 品	台 数	備 考	機器廻り器具 (機器付属品外)	設 置 場 所
			V	k w					
EH 1	電 気 温 水 器	貯湯量12Lタイプ、 据置タイプ、 先止式、 減圧弁、 逃し弁内蔵	1φ100V	1.1	密閉式排水ホッパー	1	連結管にて混合水栓と接続		給湯室 (流し台内)
		温度調節タイプ (30℃～75℃) ウィークリータイマー付			耐震用脚		[参考～REW-B917]		
		[流し台内取付]			連結管 (フレ) 他付属品一式				
					アンクル形止水栓 (壁給水用) TL347CU				

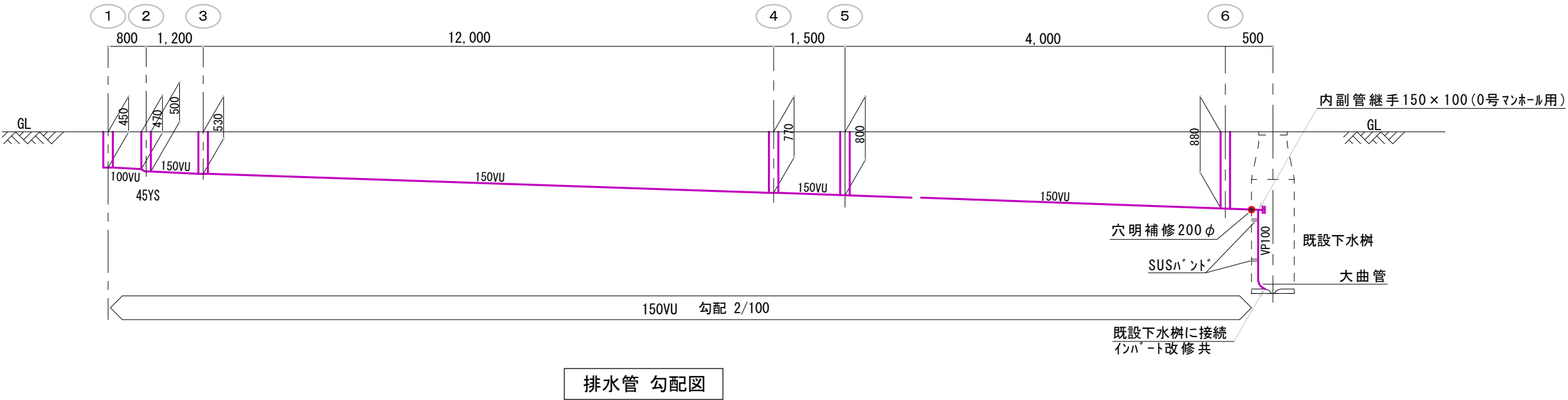
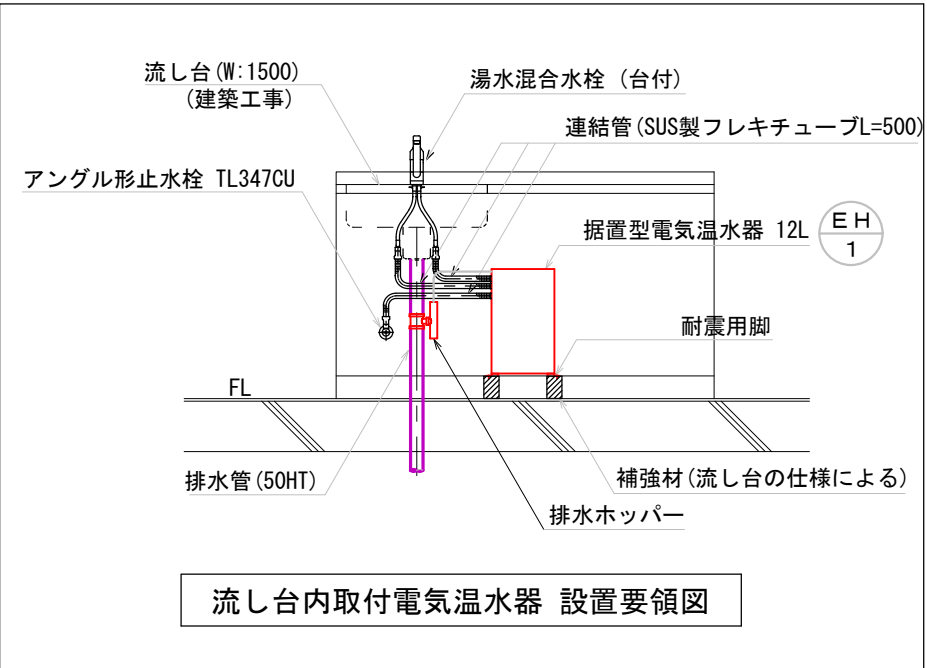
凡 例

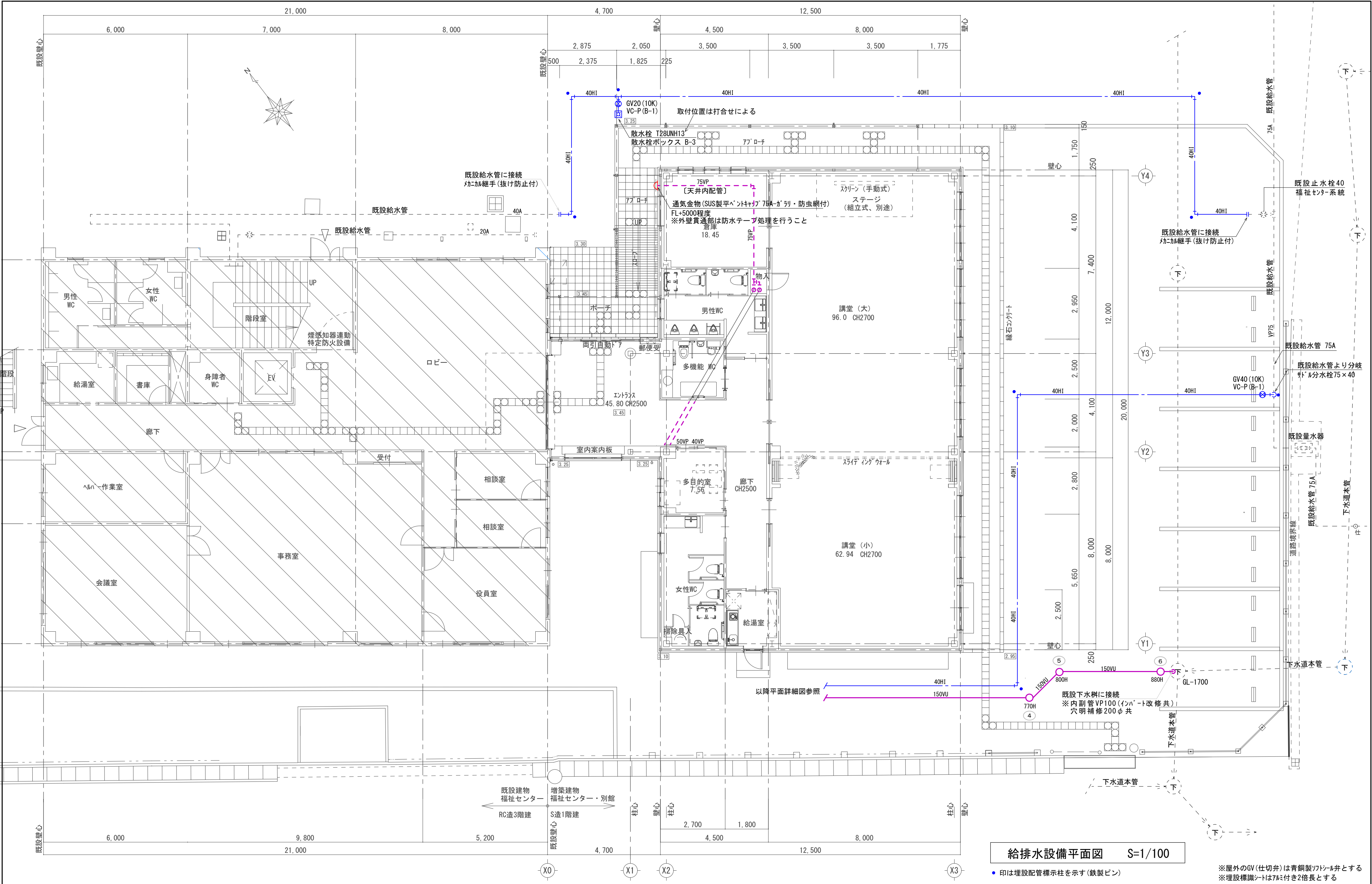
記 号	名 称	管 種	備 考
 HI	給 水 管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管	H1VP
 VA	給 水 管	塩 ビ ラ イ ニ ン グ 銅 管	SGP-VA, SGP-FVA
 VD	給 水 管	内外面塩ビライニング銅管	SGP-VD, SGP-FVD
 VP	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP, RF-VP
 VP	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管	カラーパイプVP
 VP	汚 水 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP, RF-VP
 VU	屋 外 排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管	VU, RS-VU
 HT	排 水 管	耐熱性硬質塩化ビニル管	HTVP
			[温水器ドレン管]

樹リスト

番号	名 称	記 号	樹口径 (mm)	本管口径 (mm)	管底深さ (樹の深さ) (mm)	蓋	備 考	数
1	塩ビ製小口径樹	90L 100-150	150φ	100φ	450	樹脂製密閉蓋 200φ		1
2	〃	45YS 150x100-200 3cm段差付	200φ	150φ	500	〃		1
3	〃	90Y 150x100-200	200φ	150φ	530	〃		1
4	〃	45L 150-200	200φ	150φ	770	保護鉄蓋 (T-8)		1
5	〃	45L 150-200	200φ	150φ	800	〃		1
6	〃	ST 150-200	200φ	150φ	880	〃	グリーンポート樹でも可とする	1

小口径マスの立上り管はV Uを使用し、樹脂製密閉蓋はクサリ (SUS) 付とする
保護鉄蓋は内蓋共
塩ビ小口径樹のVP管接続はVU-VP変換ソケットを使用のこと

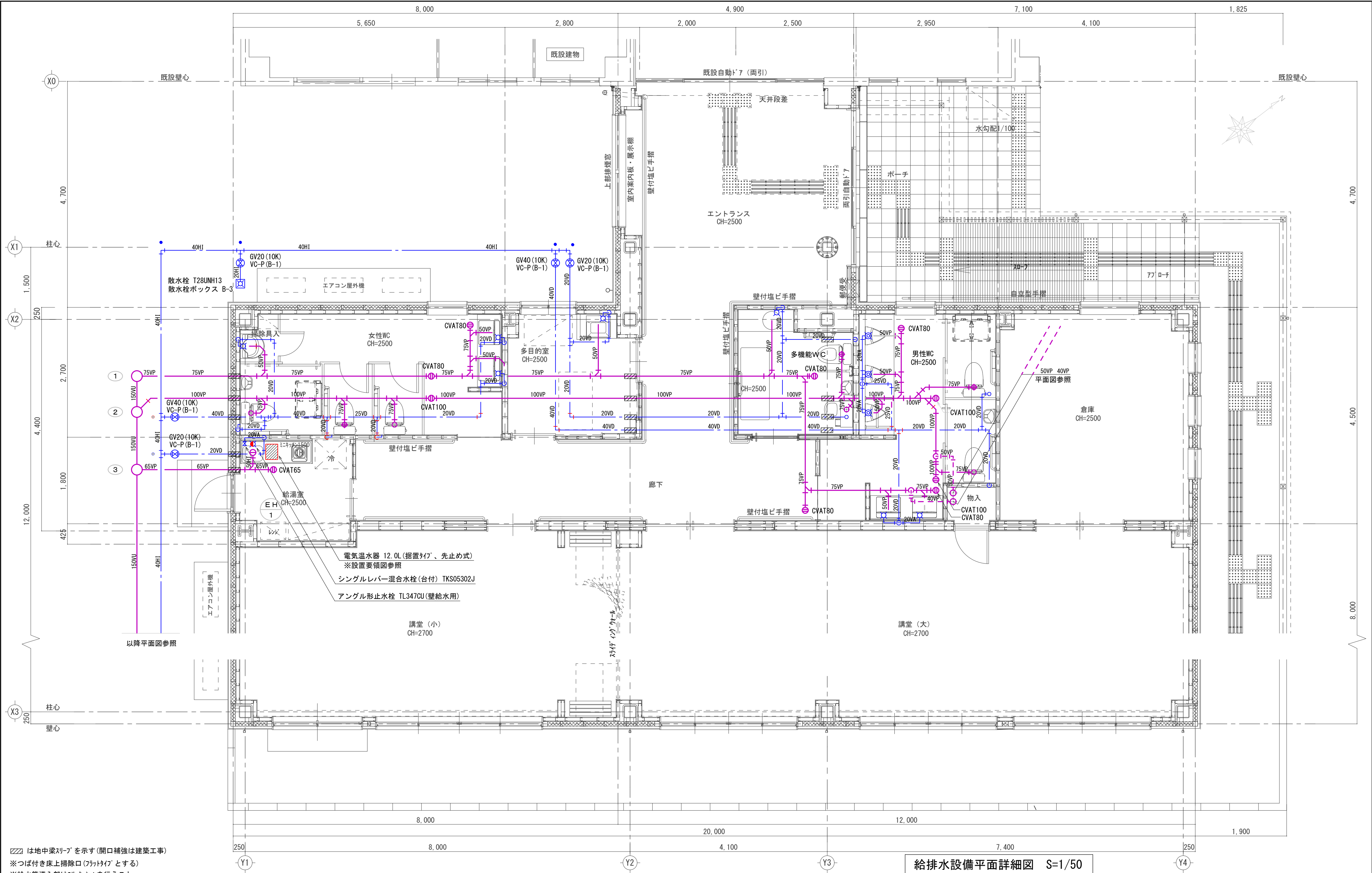




給排水設備平面図 S=1/100

● 印は埋設配管標示柱を示す（鉄製ピン） ※屋外のGV（仕切弁）は青銅製ワドル弁とする ※埋設標識シートは75mm付き2倍長とする

特記事項	工事名 福祉センター別館建設工事（機械設備）	山口県下松市古川町1丁目5-20-201 TEL 0833-44-8390 一級建築士事務所 山口県第1232号 一級建築士登録 第125874号 武居 健二	図名 給排水設備平面図 A2サイズ→100% A3サイズ→71%縮小	縮尺 S=1/100	作成日	図面番号 M-07
------	---------------------------	---	--	---------------	-----	--------------



は地中梁スリ-ブを示す(開口補強は建築工事)
※つば付き床上掃除口(フラットタイプとする)
※給水管導入部はスリ-クションを行うこと

給排水設備平面詳細図 S=1/50
●印は埋設配管標示柱を示す(鉄製ピン)

特記事項	工事名 福祉センター別館建設工事（機械設備）	図名 給排水設備平面詳細図	縮尺 S=1/50	作成日	図面番号 M-08
	武居設計事務所 山口県下松市古川町1丁目5-20-201 TEL 0833-44-8390 一級建築士事務所 山口県第1232号 一級建築士登録 第125874号 武居 健二		A2サイズ→100% A3サイズ→71%縮小		

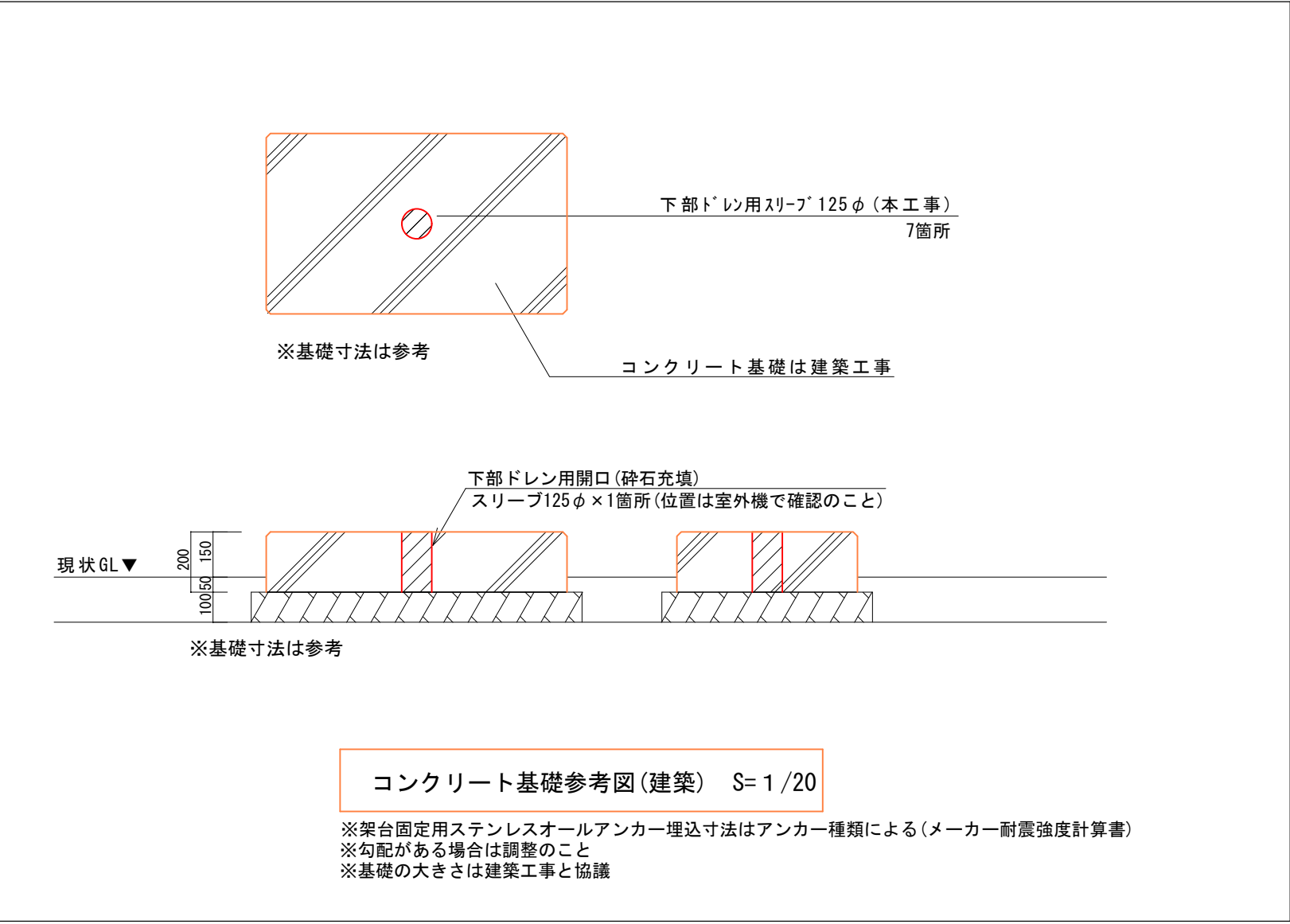
空調機器表

記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		機 器 付 属 品	台 数	備 考	設 置 場 所
			V	k w				
ACP 1	空冷パッケージエアコン	冷暖兼用、インバーター、冷媒 ～ HFC ペアタイプ	3φ200V	COMP = 1.70	コントロールスイッチ（ワイヤード）	1	屋外機用コンクリート基礎は建築工事	ホール
		P80形（3.0HP相当）、冷房能力 = 7.1kw、暖房能力 = 8.0kw		FAN（外）= 0.090	化粧パネル、フィルター		〔冷媒接続口径 ～ 9.5×15.9〕	
		屋内機 ～ 天井埋込カセット形（4方向吹出）		FAN（内）= 0.053	屋内機ドレンアップ機能		参考重量：100kg以下	
		屋外機 ～ JRA 耐塩害仕様	冷房消費電力 = 2.10kw		屋外機転倒防止金具、屋外機用防振ゴムパット			
ACP 2	空冷パッケージエアコン	冷暖兼用、インバーター、冷媒 ～ HFC ペアタイプ	3φ200V	COMP = 1.70	コントロールスイッチ（ワイヤード）	2	屋外機用コンクリート基礎は建築工事	講堂（小）
		P80形（3.0HP相当）、冷房能力 = 7.1kw、暖房能力 = 8.0kw		FAN（外）= 0.090	化粧パネル、フィルター		〔冷媒接続口径 ～ 9.5×15.9〕	
		屋内機 ～ 天井埋込カセット形（4方向吹出）		FAN（内）= 0.053	屋内機ドレンアップ機能		参考重量：100kg以下	
		屋外機 ～ JRA 耐塩害仕様	冷房消費電力 = 2.10kw		屋外機転倒防止金具、屋外機用防振ゴムパット			
ACP 3	空冷パッケージエアコン	冷暖兼用、インバーター、冷媒 ～ HFC ペアタイプ	3φ200V	COMP = 1.70	コントロールスイッチ（ワイヤード）	3	屋外機用コンクリート基礎は建築工事	講堂（大）
		P80形（3.0HP相当）、冷房能力 = 7.1kw、暖房能力 = 8.0kw		FAN（外）= 0.090	化粧パネル、フィルター		〔冷媒接続口径 ～ 9.5×15.9〕	
		屋内機 ～ 天井埋込カセット形（4方向吹出）		FAN（内）= 0.053	屋内機ドレンアップ機能		参考重量：100kg以下	
		屋外機 ～ JRA 耐塩害仕様	冷房消費電力 = 2.10kw		屋外機転倒防止金具、屋外機用防振ゴムパット			
ACP 4	空冷パッケージエアコン 〔ルームエアコン〕	冷暖兼用、インバーター、冷媒 ～ HFC	1φ100V	COMP = 0.75	コントロールスイッチ（ワイヤレス）	1	屋外機用コンクリート基礎は建築工事	多目的室
		冷房能力 = 2.5kw、暖房能力 = 2.8kw		FAN（外）=	フィルター		〔冷媒接続口径 ～ 6.4×9.5〕	
		屋内機 ～ 壁掛形 屋外機 ～ JRA 耐塩害仕様		FAN（内）=	屋外機転倒防止金具、屋外機用防振ゴムパット		参考重量：100kg以下	
		壁掛形用ドレンアップキット（低揚程用）〔冷媒配管スペーサー付〕 取付	暖房消費電力 = 0.635kw					

～ 注 記 ～

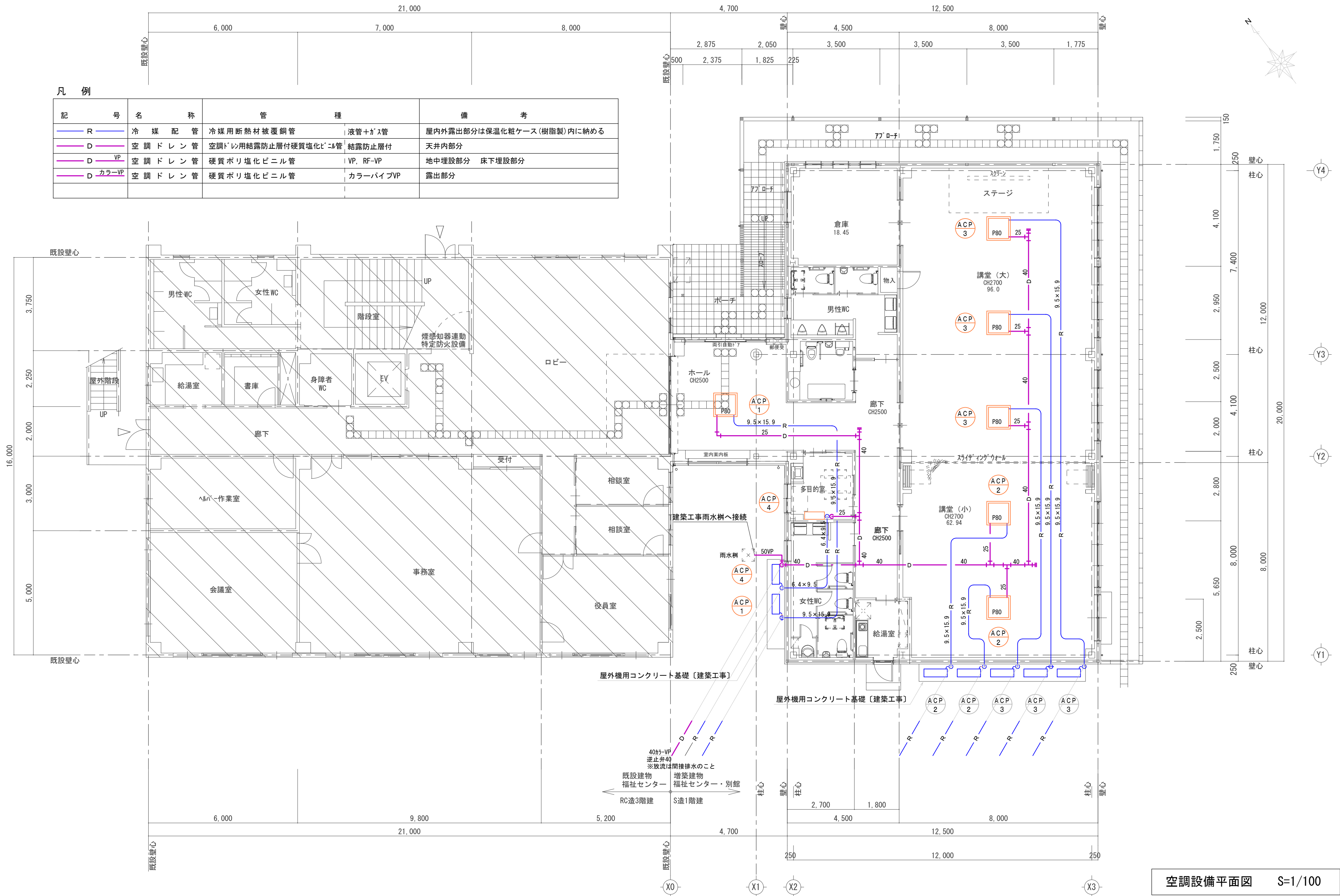
- 空調機の冷暖房能力はJ I S条件による
- 電気容量は参考とする
- 冷媒配管サイズは参考とする
- 機器は製造者標準仕様
（ルームエアコン以外はグリーン購入法調達基準適合商品）
- 屋内機～屋外機間の渡り配線は本工事とする
- 空調機用リモコンの取付及び配線工事は本工事
- 屋外機は転倒防止措置を施す
- 屋外機取付用アンカーボルト、ナットはステンレス製とする（Wナット）
- 室内機の吊込は耐震振れ止めを行うこと（室内機の固定はWナット）
- 屋内機化粧パネルの色は現場指示による
- 室外機はアンカー強度計算書により選定し、作業工程を撮影すること
- 室内外機にはカギリングシート等で名称を表示すること

※ エアコンの屋外機において、高調波流出電流が上限値を超えると予想される場合には、電力会社と協議のうえ高調波抑制対策を行うこと



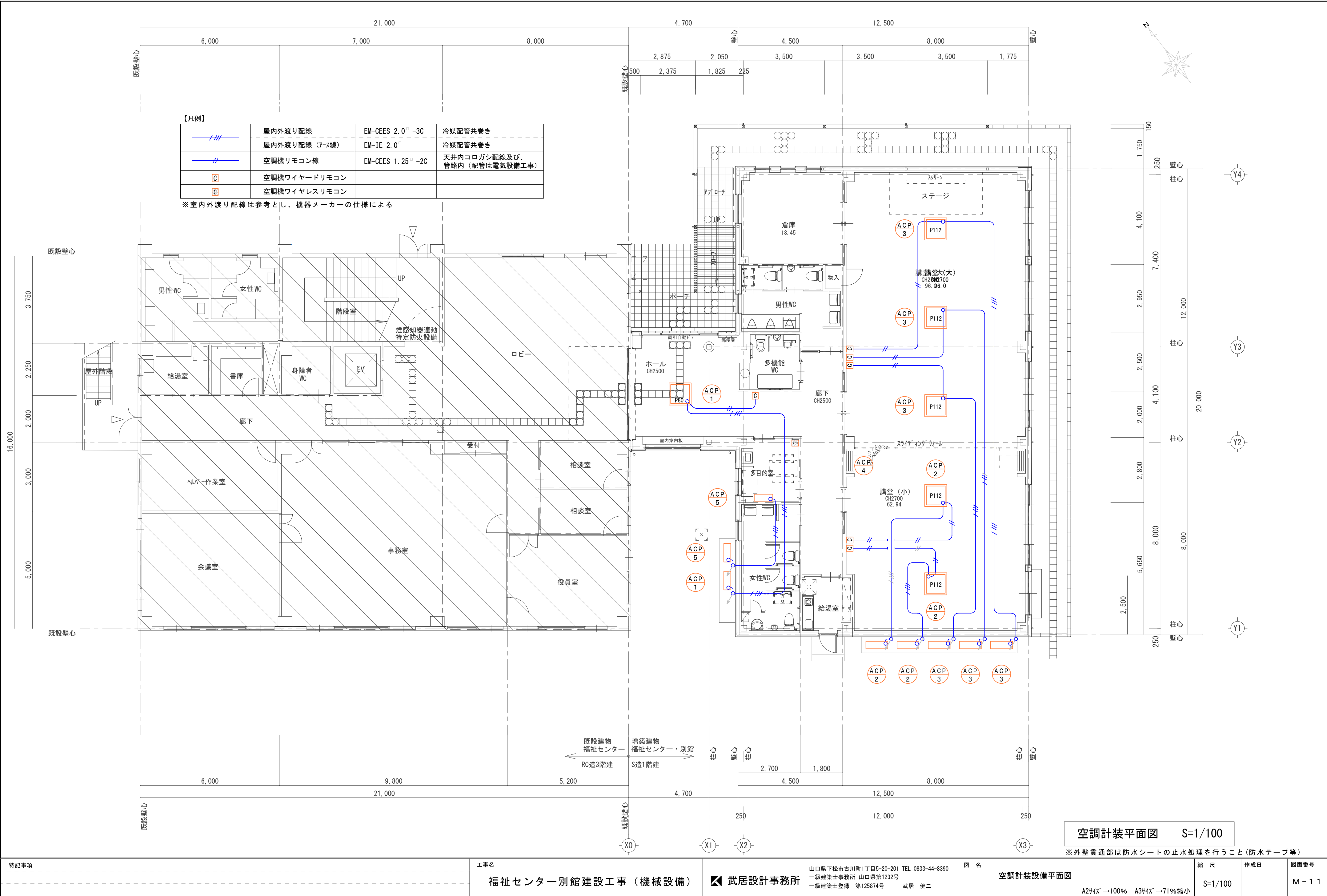
凡 例

記 号	名 称	管 種		備 考
R	冷 媒 配 管	冷媒用断熱材被覆銅管	液管+ガス管	屋内外露出部分は保温化粧ケース(樹脂製)内に納める
D	空 調 ド レ ン 管	空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管	結露防止層付	天井内部分
D-VP	空 調 ド レ ン 管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP, RF-VP	地中埋設部分 床下埋設部分
D-カラーVP	空 調 ド レ ン 管	硬質ポリ塩化ビニル管	カラーパイプVP	露出部分



空調設備平面図 S=1/100

※外壁貫通部は防水シートの止水処理を行うこと(防水テープ等)



【凡例】			
	屋内外渡り配線	EM-CEES 2.0 □ -3C	冷媒配管共巻き
	屋内外渡り配線 (7-ス線)	EM-IE 2.0 □	冷媒配管共巻き
	空調機リモコン線	EM-CEES 1.25 □ -2C	天井内コロガシ配線及び、 管路内 (配管は電気設備工事)
	空調機ワイヤードリモコン		
	空調機ワイヤレスリモコン		

※室内外渡り配線は参考とし、機器メーカーの仕様による

空調計装平面図 S=1/100

※外壁貫通部は防水シートの止水処理を行うこと(防水テープ等)

換気機器表

記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		機 器 付 属 品	外壁設置 給排気口 外壁フード(ベンドキャップ)	備 考	台 数	設 置 場 所	参考品番
			V	k w						
HEU 1	空 調 換 気 扇 (全 熱 交 換 器)	業務用空調換気扇、 静止形、 マイコンタイプ	1φ100V	0.35	リモコンスイッチ (参考 PGL-63DR)	SUS製 深形フード 200φ×2	機器までのOA, EAパイプは保温施工	7	講堂(小) 講堂(大)	LGH-N50RX4
		天井埋込形ダクトタイプ 自動換気切替機能付			フィルター、防振吊金具	(低圧損型)	リモコンは別途電気設備工事へ支給			
		200φ(パイプ径)×500m ³ /h×150Pa ～ 強			排気口(消音形BOX付)	(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
		(20m ³ /h×10Pa ～ 弱) 〔24時間換気時〕			給気口(消音形BOX付)	〔参考 AT-200FWS5〕				
FE 1	天 井 換 気 扇	低騒音形、プラスチックボディ、プラスチックファン、プラスチックグリル	1φ100V	0.03		SUS製 深形フード 150φ		1	多機能WC	VD-17ZSC14
		150φ(パイプ径)×160m ³ /h×50Pa				(低圧損型)				
						(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
						〔参考 AT-150FWS5〕				
FE 2	天 井 換 気 扇	低騒音形、プラスチックボディ、プラスチックファン、プラスチックグリル	1φ100V	0.03		SUS製 深形フード 150φ		2	女性WC	VD-18ZC14
		150φ(パイプ径)×200m ³ /h×50Pa				(低圧損型)				
						(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
						〔参考 AT-150FWS5〕				
FE 3	天 井 換 気 扇	低騒音形、プラスチックボディ、プラスチックファン、プラスチックグリル	1φ100V	0.03		SUS製 深形フード 150φ		2	男性WC	VD-18ZC14
		150φ(パイプ径)×200m ³ /h×50Pa				(低圧損型)				
						(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
						〔参考 AT-150FWS5〕				
FE 4	天 井 換 気 扇	低騒音形、プラスチックボディ、プラスチックファン、プラスチックグリル	1φ100V	0.05		SUS製 深形フード 150φ		1	倉庫	VD-20ZC14
		150φ(パイプ径)×250m ³ /h×50Pa				(低圧損型)				
						(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
						〔参考 AT-150FWS5〕				
FE 5	天 井 換 気 扇	低騒音形、 オール金属タイプ	1φ100V	0.04	金属製グリスフィルター	SUS製 深形フード 150φ		1	給湯室	VD-18Z13
		150φ(パイプ径)×180m ³ /h×80Pa				(低圧損型)				
						(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
						〔参考 AT-150FWS5〕				
FE 6	天 井 換 気 扇	低騒音形、プラスチックボディ、プラスチックファン、プラスチックグリル	1φ100V	0.02	24時間換気専用スイッチ	SUS製 深形フード 100φ	24hスイッチは別途電気設備工事へ支給	1	多目的室	VD-15ZLC14-S
		24時間換気機能付			(強・弱タイプ)	(低圧損型)				
		100φ(パイプ径)×80m ³ /h×50Pa				(ギヤリ、防鳥網付)(焼付塗装)				
		10m ³ /h×10Pa 〔24時間換気時〕				〔参考 AT-100FWS5〕				

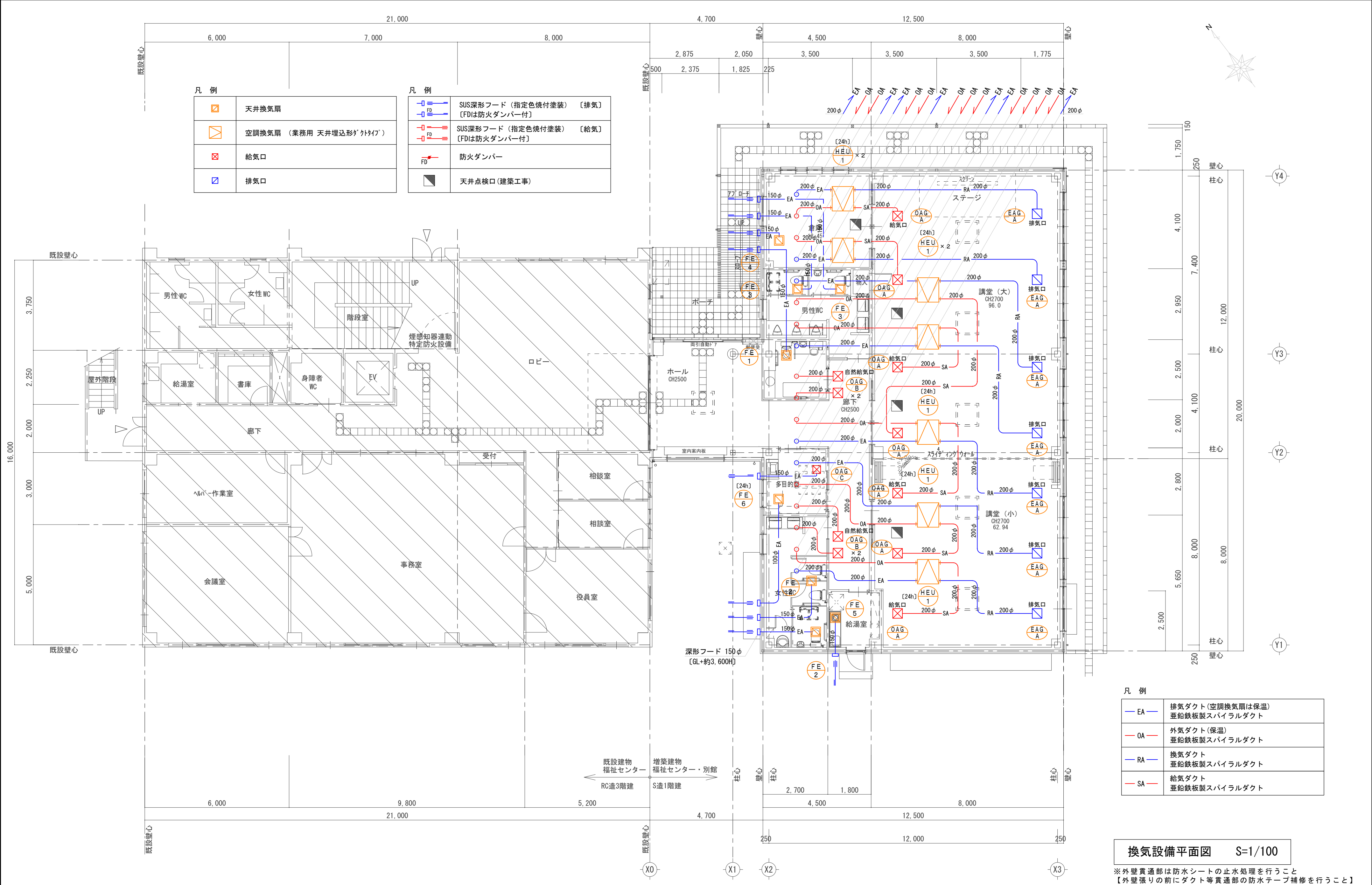
～ 注 記 ～

- 電気容量は参考とする
- SUS製深形フード(低圧損型)(ギヤリ、防鳥網付)は指定色焼付塗装(色は現場指示)
- 空調換気扇のリモコンスイッチは電気設備工事に支給する(スイッチの配線は電気設備工事)
- 一般換気扇のスイッチは、電気設備工事
- 空調換気扇の外気側給気パイプ、排気パイプは保温施行のこと
- 自然給気用OAパイプは保温施工のこと
- SUS製深形フードのFDIに関しては平面図参照
- 空調換気扇は耐震振れ止め支持を行うこと(公共建築設備工事標準図参照)

給排気口表

記号	風量 m ³ /h	給 排 気 口					自然給気グリル用 外壁フード(ベンドキャップ)	
		種類、仕様	参考品番	個数	設置場所	備 考	種類、仕様	
OAG A	500	給気	給気口、200φ(適用パイプ径)、消音形、ボックス付	PZ-N20FG2 〔三菱電機〕	7	講堂(小) 講堂(大)	HEU-1用 給気口	
OAG B	成行	給気	給気口、200φ(適用パイプ径)、消音形、ボックス付 不織布フィルター共	BFS-20G4+ BFS-2025GF4 〔三菱電機〕	4	廊下	自然給気口	SUS製 深形フード200φ 〔参考 AT-200FWS5〕 (ギヤリ、防鳥網付)(指定色焼付塗装)
OAG C	80	給気	150φ(適用パイプ径)、天井据付タイプ 樹脂製角形、風量調節付、ネットフィルター付	AT-150QKN3 〔ルネアテック〕	1	多目的室	自然給気口	SUS製 深形フード150φ 〔参考 AT-150FWS5〕 (ギヤリ、防鳥網付)(指定色焼付塗装)
EAG A	500	排気	排気グリル、200φ(適用パイプ径)、消音形、ボックス付	PZ-N20FG2 〔三菱電機〕	7	講堂(小) 講堂(大)	HEU-1用 排気口	

※記号に〔24h〕の記入があるものは24時間換気扇を示す

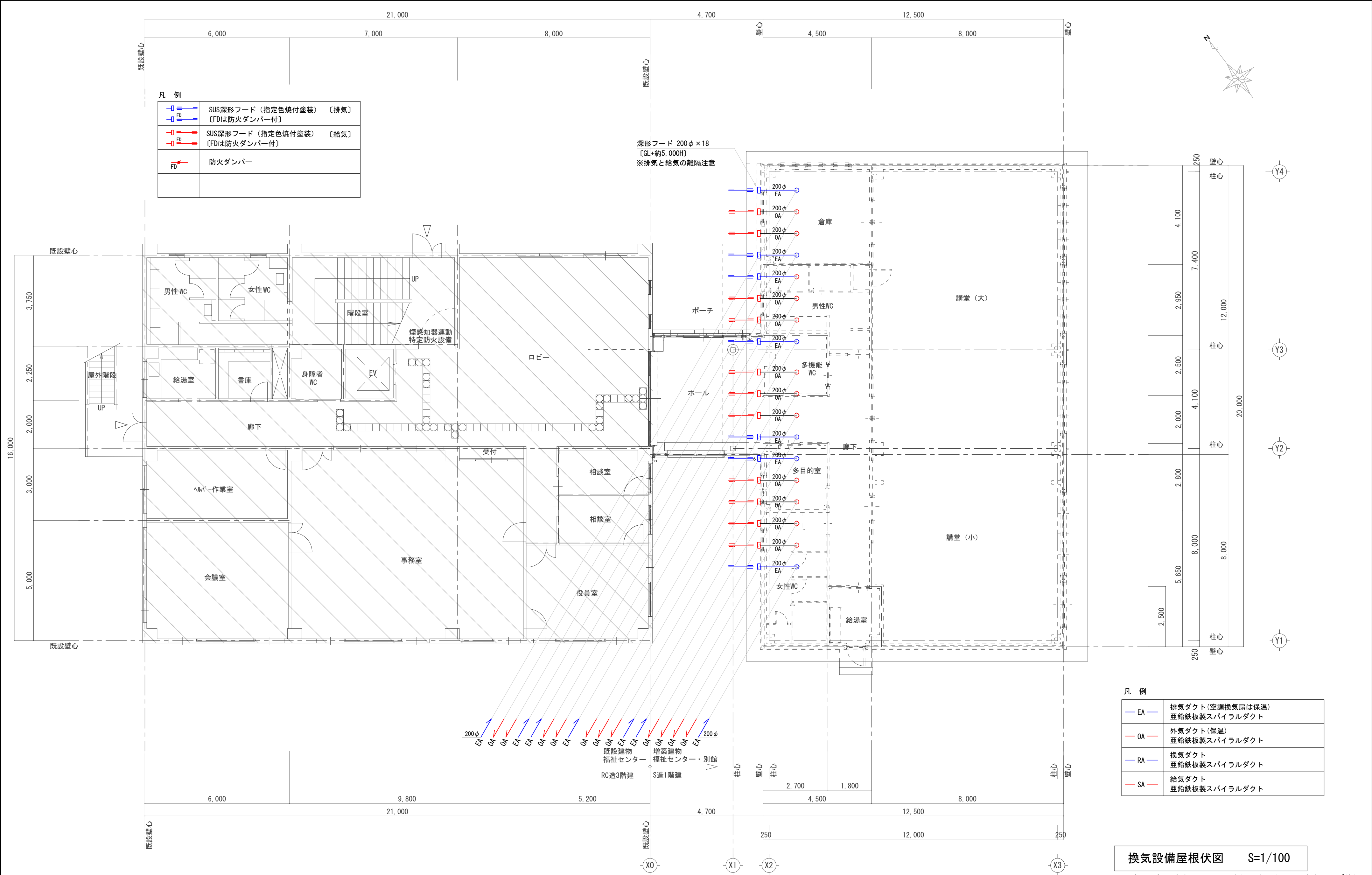


凡 例		凡 例	
	天井換気扇		SUS深形フード（指定色焼付塗装）〔排気〕 〔FDは防火ダンパー付〕
	空調換気扇（業務用 天井埋込形）		SUS深形フード（指定色焼付塗装）〔給気〕 〔FDは防火ダンパー付〕
	給気口		防火ダンパー
	排気口		天井点検口（建築工事）

凡 例	
	排気ダクト（空調換気扇は保温） 垂鉛鉄板製スパイラルダクト
	外気ダクト（保温） 垂鉛鉄板製スパイラルダクト
	換気ダクト 垂鉛鉄板製スパイラルダクト
	給気ダクト 垂鉛鉄板製スパイラルダクト

換気設備平面図 S=1/100

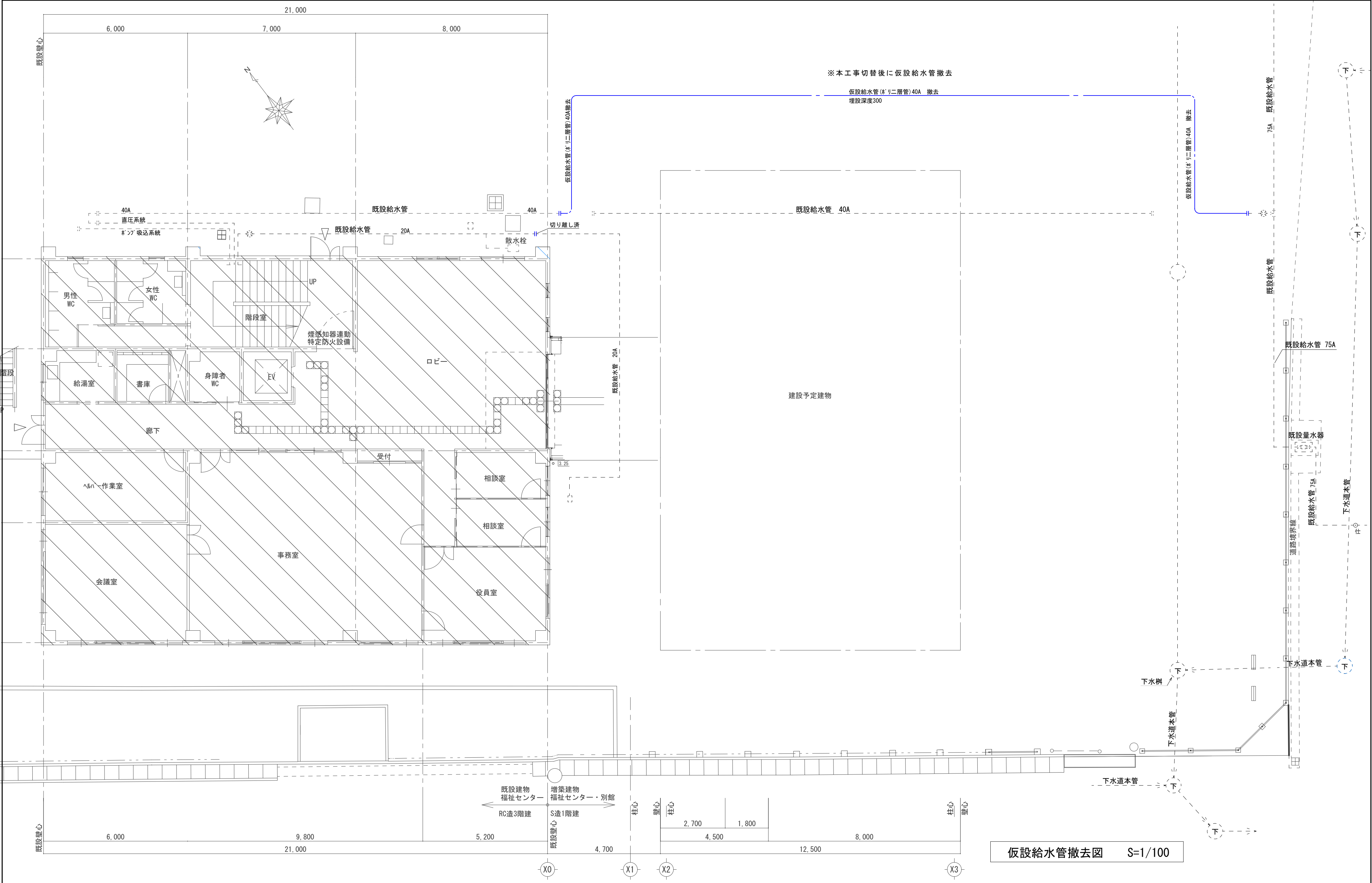
※外壁貫通部は防水シートの止水処理を行うこと
【外壁張りの前にダクト等貫通部の防水テープ補修を行うこと】



凡 例	
EA	排気ダクト(空調換気扇は保温) 垂鉛鉄板製スパイラルダクト
OA	外気ダクト(保温) 垂鉛鉄板製スパイラルダクト
RA	換気ダクト 垂鉛鉄板製スパイラルダクト
SA	給気ダクト 垂鉛鉄板製スパイラルダクト

換気設備屋根伏図 S=1/100

※外壁貫通部は防水シートの止水処理を行うこと(防水テープ等)



仮設給水管撤去図 S=1/100

特記事項	工事名 福祉センター別館建設工事（機械設備）	山口県下松市古川町1丁目5-20-201 TEL 0833-44-8390 一級建築士事務所 山口県第1232号 一級建築士登録 第125874号 武居 健二	図名 仮設給水管撤去図 縮尺 A2#1/2' →100% A3#1/2' →71%縮小	作成日	図面番号 M-15
------	---------------------------	---	--	-----	--------------